

R32C/100シリーズ用リアルタイムOS(M3T-MR100/4) V.1.00 Release 00 ご使用上のお願い

R32C/100シリーズ用リアルタイムOS(M3T-MR100/4)使用上の注意事項を連絡します。

- タイムアウト機能の使用に関する注意事項
- 固定長メモリプール領域の配置に関する注意事項

1. タイムアウト機能の使用に関する注意事項

1.1 該当製品

R32C/100シリーズ用
M3T-MR100/4 V.1.00 Release 00

1.2 内容

遅延待ち、またはタイムアウト待ちのタスクの合計が同時に128以上存在した場合、カーネルの管理するデータに不整合が発生することがあります。その結果、システムクロック割り込み処理や、待ちを解除するサービスコール処理が正常終了せずハングアップするなどの誤った動作が発生します。

1.3 発生条件

以下に示す条件をすべて満たした場合に発生することがあります。

- (1) 遅延待ち、またはタイムアウト待ちのタスクの合計が同時に128以上存在する。
- (2) システムクロック割り込みの発生や、遅延待ち、またはタイムアウト待ちタスクの待ちを解除するサービスコール呼び出しにより、遅延待ち、またはタイムアウト待ちタスクの待ちが解除(注)された。

注：強制待ち解除、タイムアウトの場合も含まれます。

1.4 回避策

回避策はありません。

遅延待ち、およびタイムアウト待ちのタスクの合計が同時に128以上に

ならないように設計してください。

1.5 恒久対策

本注意事項は、5月20日から公開予定のM3T-MR100/4 V.1.01 Release 00で改修されています。

2. 固定長メモリプール領域の配置に関する注意事項

2.1 該当製品

R32C/100シリーズ用
M3T-MR100/4 V.1.00 Release 00

2.2 内容

固定長メモリプールを0x10000番地を超えるアドレスに配置した場合、カーネルが誤った領域に値を書き込むことがあります。

2.3 発生条件

以下に示す条件をすべて満たした場合に発生することがあります。

- (1) 固定長メモリプール領域を0x10000番地を超えるアドレスに配置した。
- (2) 固定長メモリブロックを獲得するため、`pget_mpf`, `tget_mpf`, または `get_mpf` サービスコールを呼び出した。

2.4 回避策

回避策はありません。

固定長メモリプール領域は、0x10000番地以内に配置してください。

2.5 恒久対策

本注意事項は、5月20日から公開予定のM3T-MR100/4 V.1.01 Release 00で改修されています。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。